

「国賠同盟」石川県本部は、6月19日、近江町交流プラザ集会室において第38回総会を開催しました。総会では、中央本部会長の増本一彦氏が、「いま、なぜ『治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟活動』なのか」を主題に次のような内容の講演を行いました。

増本一彦・中央本部会長の講演

戦後の日本は、「ポツダム宣言」の無条件受諾に始まるが、「ポツダム宣言」第10項は「日本国政府は日本国民の間における民主主義的傾向の復活強化に対する一切の障碍を除去すべし。言論・宗教・及び思想の自由並びに基本的人権は確立せらるべき」と規定しています。この民主主義的傾向の復活強化に対する一切の障害除去こそが治安維持法犠牲者の闘いと抵抗の歴史が求めてきたものであり、絶対主義的

第38回 「国賠同盟」石川県本部総会



「不届」NO.565 付録
石川版 NO. 323
2021年7月15日
治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟石川県本部
〒920-0856
石川県金沢市昭和町5-13
石川県平和と労働会館2F
国民救援会石川県本部氣付
TEL・FAX 076-262-3447



講演する増本会長（近江町交流プラザ集会室）2021.6.19

天皇制を打破し、戦後の日本国憲法の平和と民主主義の礎を築いたものです。

私たち国賠同盟は、この闘いと抵抗の歴史を受け継ぎ、再び戦争と暗黒の政治を許さず、民主主義と基本的人権の拡充を更に発展させる運動を進めて行こう。

総会議事

増本会長講演のあと、石川県本部の活動経過報告・活動方針、会計報告・予算が提案され討議を行い、異議なく決定されました。

今回の総会開催準備中及び開催当日に、併せて9名の新会員を迎えたことが報告されました。

役員体制では、

今年1月以来、会長・事務局長職を代行で行つてきた尾西洋子を新会長に、堀井三吉を新事務局長に選任し、納口清隆氏は相談役とするなど、役員体制を決定しました。

会長 尾西洋子（新）

副会長 金子視好 升きよみ

事務局長 堀井三吉（新）

事務局次長 橋爪真理

幹事 高村可代子 田畠吉廣 奥護

相談役 北口吉治 納口清隆（新）

鶴彬の碑前祭に参加して 山口修治

6月13日の、卯辰山での鶴彬つつじ祭に参加してきました。個人的には時々訪れて、自分自身の平和への想いを確かめ、鶴彬を身近にも感じていましたが、ひさしぶりのこのような企画に感謝。

参列されたみなさんの献句に脱帽と拍手！！「鶴彬なら、今、なんと詠むだろうか・・・」とおっしゃっていましたが、コロナ禍の中で軍事費だけは聖域として過去最高の予算化し、憲法改悪まで遡上にのせる現政権、鶴彬に勝ることは出来ませんが負けないよう詠み發信していくなければと・・・帰路の車中で思いを巡らせました。

増本会長の訴えについて

中央本部事務局長・田中幹夫（6月28日）

6月23日、中央本部はオンライン三役会議を開催し、当面する激動する情勢のもとでの同盟の任務と行動を明らかにしました。その上に立つて、増本会長の「全会員の皆さんに訴えます」（A4判裏表）を作成いたしました。

印刷して、「不届」7月号（7月7日発送）と一緒に送付いたしますので、同封して会員の皆さんに届けてくださいることをお願いいたします。



金沢市 卯辰山・玉兎が丘の 鶴彬句碑

■岩原茂明さん

6月13日、卯辰山玉兎が丘の鶴彬句碑祭（つつじ祭）を実施した。句碑祭は金沢鶴彬顕彰会が主宰し、平和川柳研究会、年金者川柳研究会などから10名が参加しました。参加者は、鶴彬についての想いを懇談し、句碑への献花と5句の献句をしました。

卯辰山の鶴彬句碑は、「和川柳社」主宰・岡田一杜氏、原由友（共産党県常任委員）氏らが全国に呼び掛けた基金で、「鶴彬顕彰会」が1965年9月14日建立し、序幕されたものです。

6月13日は鶴彬が治安維持法違反で逮捕され有罪判決を受けた日です。この日を記念する「つつじ祭を」今後も継続し、9月14日命日の取り組みにもつなげていきたいと思っています。鶴彬の顕彰事業に対して、国賠同盟県本部の積極的な協力・共同を提案したい。

■末友雅子さん

劇映画「伊藤千代子の生涯」の映画製作・上映を支援する活動について、

「治安維持法の犠牲となつた伊藤千代子の生き方に共鳴し、昨年7月に映画製作協力募金に応募しました。この映画の製作を実現し、石川での上映を多くの方々に観てもらう運動に期待しています。」

乙女がいた
声をあげた
権力に抗して

わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

増補新版・原作：「時代の証言者 伊藤千代子」藤田廣登（学習の友社・刊）

企画・プロデューサー：桂 壮三郎 ラインプロデューサー：山地 昇 脚本・監督補佐：宮負秀夫 撮影監督：田宮健彦 アシスタントプロデューサー：平沢清一 照明：赤津淳一
美術監督：安藤 篤 音楽：山谷和明 助監督：小野寺昭洋 制作担当：星 孝之 キャスティング：石井美保子 升本由喜子 衣装：おかもと技芸 ヘアメイク：萩みみ
制作協力：アトリエ羅夢 製作：映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画

2021年 秋クラインクイン

2022年3月 完成



竹下景子
(安井てつ)



窪塙俊介
(浅野晃)



金田明夫
(土屋文明)



石丸謙二郎
(特高)



印南唯
(西村櫻東洋)



角田萌果
(塙沢富美子)



田上唯
(渡辺多恵子)



平田舞
(今井久代)



塙瀬香名子
(平川ふみ)



曾川留三子
(浅野ステ)



宜野座万鈴
(原菊枝)

待望の
映画化
製作快調！

賛同団体

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 日本国民救援会 日本婦人団体連合会 婦人民主クラブ 新日本歌人協会 全日本年金者組合
全日本年金者組合東京都本部 全日本民主医療機関連合会 宇治・長野・大阪・東京各山宣会（2021年4月現在）

chiyoko-cinema.jp

